

水谷千里さん（みんなの居場所 わっかっか！代表）

9 か月ほど前のことだったでしょうか、突然水谷さんから電話をいただき、妙に親し気だったことを昨日のことに覚えています。勿論知らない方ですが、一度お会いしましょうということになり、その日のうちに私のところまで飛んで来られました。この「行動力」は何なの、と正直思いました（笑）。同じ「住み開きサロン」を運営する者同士、意気投合。数時間話し込んだのは言うまでもありません。

彼女は大阪府吹田市の生まれ、あの万博で有名な千里ニュータウンにちなんで名付けられたとか。短大を卒業後、京都の宇多野ユースホステルに勤務。そこで、人とのつながりがいかに大切かをあらためて体感。彼女の、生き方の「背骨」になったのでしょうか。その後、縁あって南丹市に移住。胡麻で10年、殿田（世木）に引っ越して3年になるそうです。自然豊かな素晴らしいまちで、みんなでワイワイいいながら暮らしたいという思いで、「みんなの居場所 わっかっか！」を立ち上げ。子どもに安全なものを食べさせたいと始めた、パン工房 農～みのり～の経営、京都府『里の公共員』、という三足のわらじを、楽しんでらっしゃるように見えます。結局、好奇心のかたまり、楽道家だと思いきや、本人曰く、結構寂しがり屋の怖がりらしい。「わっかっか！」は、メンバーの意見や思いつきでいろいろな企画を「軽やかに」実践するも、商売のほうは我流ながら結構手堅いところがおもしろい。

彼女に「次の一手（目標）」を訊いてみたところ、この地域に都会の子ども達を招く、教育体験旅行（農村民泊）の受け入れを広げることと、若者と共に考える、僕らが作る未来創造計画（世木地域 MIRAI プロジェクト）を軌道に乗せることらしい。次から次へとアイデアが飛び出す原動力はいったい何か！？結局「自分のためにやっていますから」とさらりと言っただけ、執着のなさ、癒し系の笑顔が彼女の最大の武器（魅力）ですね。

2017.3.10

（松尾 清嗣）

